

いっちゃんこども自然塾 4月度活動報告

活動の目的 農作業歳時記に従って、年間を通じて農作業を体験し、森の草木や生きものを観察し、自然とかかわることの楽しさと、自然環境の大切さを、こども達に学習してもらう。

1. 開催日時 2025年4月 13日(日) 10時～14時30分 曇時々小雨

2. 参加人数 参加者 20名(欠席0)

3. 行事内容 農作業 ;畑ツアー、サトイモの植え付け
森の学習 ;春の草木の観察、森の散策
森の整備 ;シイタケの菌打ち、植樹

4. スケジュールと活動概要

10:00-10:20 挨拶、開講式、注意事項、今日のスケジュール説明。

10:20-10:45 畑ツアー、サトイモの植え付けと水やり

11:45-11:10 コナラの丘・農風景区北にて植樹 各人1p

11:10-12:10 シイタケの菌打ち(孔あけ、菌打ち込み、打ったホダ木を運搬)

12:10-13:00 昼食と自由時間

13:00-14:20 森の案内と、花木の観察。

14:20-14:30 今日の振り返り、次回のお知らせ。

5. 活動補足と所見

- 天候不順にて、終日ピロティをベースとし、農作業と植樹を優先して実施した。
- 2年生6人、3年生2人、4年生7人、5年生2人、6年生3人の20人、昨年経験者は4名と平均的。
- サトイモの植付け説明や畑ツアーは、初めての子どもは勝手がわからず神妙に聞いていた。
- サトイモの植え付け穴を掘る際は、径の割りに深く掘ることになり、移植コテの扱いが難しそうだった。
- コナラ苗木の植樹場所は耕耘機で予め掘削していたが、地下茎などが残っており、移植穴を掘るのには手こずった。
- シイタケの菌打ちは、2人一組にて、穴あけ・菌入れ・木槌で打込み・運搬の一連の作業を体験。その後、二人で協力して、シイタケホダ木置場まで運び、交互に並べ立てかけた。
- 昼からは、畑と周辺の草地にてカンサイタンボポ・セイヨウタンボポ、ホケノサ・ヒメオトリコソウ、カラスノエンドウ・スズメノエンドウ・カスマグサなどを観察した。ペンペングサ・シロツメグサ・レンゲソウなど身近な草本類も確認し観察した。
- 次回も、長袖の上着着用、帽子、手袋、長ぐつ、水筒など忘れないように確認した。

6. 活動風景

サトイモの植え付け(説明・手本をみせる)



コナラの苗木を植樹



シイタケの菌打ち(ドリルで孔を開ける)



(孔を打つに小タナ木を育成場まで運ぶ)



昼食(今日はピロティにて)



(木槌でタネ菌を打込む)



(孔を打つに小タナ木を育成場に立てかける)



昼休み(なぜか四葉のクローバー探し)



植物観察と学習



シロツメグサの飾り?

